

琉球大学学術リポジトリ

発表者のプロフィール

メタデータ	言語: 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017491

【発表者のプロフィール】

プログラムにも示しましたように内外多くの研究者から講演がありました。講演者の一部を紹介しておきます。

1. Kamaruddin Abdulla (インドネシア)

現職 ボゴール農科大学 大学院副学部長

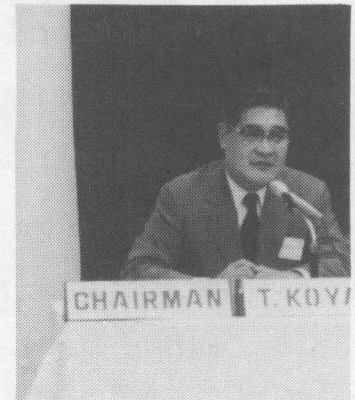
東京大学大学院農学研究科博士過程終了の農学博士であり、日本語に堪能、ボゴール農科大を尋ねた日本人はまず、カマルデイン博士を尋ねている。東大では農産機械を専攻、現在はリモートセンシングによる森林の調査を研究されている。



2. 小山鐵夫(米国)

現職 ニューヨーク植物園アジア部長 ニューヨーク市立大学教授

資源植物分類が専門で、自然破壊が著しい東南アジアで植生を調査したり、有用植物の採集が続けられている。今年も新品種保護開発研究会の団長として、東南アジアで有用植物の探索を行われる予定である。



3. Chin, Kee Kean (シンガポール)

現職 シンガポール国立大学教授

工学部土木工学科の教授で環境衛生工学が専門 パームオイルに関するの廃水処理の著作が昨年ロンドンの Pergamon Pressから刊行されている。



4. Aldo Manilio Paes Leme (ブラジル)

現職 サンパウロ州技術研究公社 化学と化学工学担当理事

植物油から重油を製造するプロジェクトのリーダー。ブラジルの人の氏名は長く、どう略したらよいのか迷う。

Aldo Leme (アルド・レメ) が最適とか。講演の原稿は頭初はポルトガル語だったようで、英訳に時間を要した。



5. Tokio Morita (ブラジル)

現職 サンパウロ州技術研究公社 化学と化学工学担当調査役

サトウキビからのアルコール製造等のプロジェクトを担当されており、これまでの技術を基礎として天然資源研究センターの設立を計画されている。本会理事の森田 大 (琉球大学工学部) 氏の実兄に当たられる。



6. E. P. Taiganides (米国)

現職 シンガポール PPD, オハイオ州立大学教授

FAOからシンガポール政府に派遣されている畜産廃棄物処理のアドバイザー。趣味のテニスでは在シンガポール米人クラブのチャンピオンとか。事務局では82年度の全沖縄学生チャンピオンとの親善試合を計画したが、なぜか実現しなかった。



7. M. A. Aziz (シンガポール)

現職 シンガポール国立大学助教授

出身はバングラデシュ、大学は英国と米国という国際人。専門は環境衛生工学でとくに自然環境の破壊には関心が深く、自然と調和した開発について研究されている。来沖中、沖縄ソバを賞味され「Delicious!」。



8. 鮫島 廣年 (日本)

現職 協和発酵工業株式会社 常務取締役

発酵工業界では指導的な立場にあり、多忙な中をシンポジウムに出席された。語学に堪能で、発酵分野では世界的な権威者の1人である。なお、今回巻頭言を書いていた。



9. 呉 維中 (中国)

現職 中国科学院林業土壤研究所副所長

戦前、京都大学農学部を卒業されており、現在も日本語を話される。土壌学が専門で中国を代表する土壌学者の一人である。今回も論文を日本語で提出していただいたが、日本と中国で漢字の感じが違うため一部を和訳した。



10. Ang Ha Ming (マレーシア)

現職 マラヤ大学助教授

マラヤ大学工学部化学工学科助教授で、嫌気性菌発酵を反応速度論から研究している新進気鋭の学者。現在オーストラリアに留学中。10月から現職に復帰の予定。

